

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	仙台市上飯田たんぼぼホーム		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年 3月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年 3月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との共感性ある会話を得意とする職員が多い。	日常の保護者の様子・子どもの様子を細やかに確認し、日々のやり取りの中で必要な助言を行い、内容によっては管理者とも相談しながら必要に応じて丁寧に保護者との面談を行っている。	子どもの発達の様子を具体的な根拠を示しながら保護者に伝え、進路選択などの材料にしていくことはこれからも課題だと感じている。そのためには日常の保護者との信頼関係の構築が不可欠である。
2	職員間の連携がスムーズで、クラスの活動内容・遊びの工夫について日常的に話し合いながらより良い活動内容を考え実施している。アイデアが豊富な職員がおり、遊びのバリエーションを考える助けになっている。	チームでの支援を意識して、主任やクラスリーダーが中心となり、クラスの職員の個性それぞれに合わせて役割分担している。子どもの発達段階の理解ができるよう努め、それに応じた遊びの工夫ができるよう話し合いをしていきたい。	研修や会議の定期的な園内での報告実施。職員それぞれのニーズに合った研修の選択や勧奨。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの発達の様子を、具体的な根拠を示しながら保護者に伝え、進路選択などの材料にしていくことについてはスキルアップが必要である。そのためには日常の保護者との信頼関係の構築が不可欠である。	保護者との関係性を築いた上で根拠となる事をクラス職員で確認し各々の役割分担に基づき保護者に伝えていく。	個別面談時の管理者などからの助言や実際の場面を想定したロールプレイの実施。定期的にクラス会議などでアセスメントシートの定期的な振り返りをしていきたい。
2			
3			